

電友会だより

(発行日)

令和五年

三月一日

(発行責任者)

鹿目 忠明

会長あいさつ 「創立百二十周年そして次へ」

会長 鹿目 忠明 (昭和四十年卒)



昨年もまたコロナのため総会の開催は見送られ、書面でお知らせすることとなりました。他の修養会でも同じ様に見送られています。懐かしい方々とお会いできると楽しみにしておりますが大変残念です。

こんな中、会工創立百二十周年記念事業は十月十五日に盛大に執り行われました。十時から、学校南体育館で記念式典として、感謝状・表彰状及び記念品の贈呈を行いました。午後からは、日本体育大学体育学部体育学科四年、東京オリンピックボクシング女子フェザー級金メダリストの入江聖奈選手に「ボクシングで学んだこと」の演題で記念講話をしていただきました。金メダルを首に掛けて登壇されています。直接見る金メダルの輝きに圧倒されました。金メダルを取るくらいだからスポーツ万能の人と思っていたら、小学生の時は「逆上がり」ができなかつたそうです。意外な告白でした。しかし、自分の弱点を見つめ、それを克服するため弛まず努力をしてきたことを語られました。やはり、一流になる人は違うと思ひ、改めて見習わなければと思ひました。お友達との日常会話のような語り口は好感が持て、楽しく聞かせていただきました。

夕刻五時半からホテルいづみやで祝賀会が開かれ、入江選手にも出席していただきました。宴席では早速皆さん、入江選手との写真を撮っていました。私も写真を撮り、金メダルを触らせていただきました。

金の輝きとズシリとくる重さに驚きました。

令和五年の卒業式で最後の電気科生を送ります。「電気科」の名称はなくなり「電気情報科」となります。卒業生としては、様々な思いが駆けめぐります。この変化にしっかりと向き合って行きたいものです。電友会としては、関係者のご相談の上、活動を継続・発展させていきたいと考えています。

パンデミックという大変な時期ですが、負けず、くしけず、先輩からのバトンを次の後輩へ渡します。皆さんのご指導ご協力をお願いいたします。



～未来を創造する鶴翔～



会工電友会の活動報告&母校の近況

卒業生への記念品贈呈

令和5年(2023年)2月28日(火)、卒業生の会工同窓会入会式の当日、電気科卒業生へ卒業記念品(卓上電波時計)を贈呈し、電友会日より(作成日時の都合で「記念品贈呈」と「電気科閉科式」の記事は未掲載)を提供しました。電気科卒業生に対する記念品贈呈は、会工電友会の事業として永年継続実施しています。



鹿目会長から卒業生へ
卒業記念品を贈呈しました

「電気科」閉科式

令和5年(2023年)2月28日

電気科および情報技術科の閉科式が、両科の平成5年3月の卒業生はじめ、松本善法校長、会工電友会鹿目会長、関係職員など参加の下実施されました。令和3年(2021年)3月に電気科および情報技術科の両科を募集停止し、同年4月に「電気情報科」が新設されたことによる閉科です。

昭和23年(1948年)4月学制改革により新制高等学校発足、福島県立会津工業高等学校に校名変更と同時に電気通信科から科名変更した電気科は(会工賛歌の沿革参照)、70年以上の歴史を有し、昭和26年(1951年)から現在まで3000名を超える卒業生を輩出しました。

「電気情報科」の状況については、次ページ以降の会工電気科からの寄稿(3ページ〜6ページ)をご覧ください。



鹿目会長

松本校長

電気科・情報技術科 閉科式

前列中央 卒業生代表 佐藤広生 君



飯豊連峰

令和5年
2月28日
(快晴)



会津磐梯山

《会工 電気科からの寄稿》

「今年度の電気科・電気情報科の状況」

電気情報科 兼 電気科主任 志田 博隆

電友会の皆様には日頃より大変お世話になり、感謝申し上げます。今年度は百二十周年の節目でもあり、その伝統と重んじるとともに、方々で活躍される電友会の皆様の功績を肌で感じる一年でもありました。また、令和三年度の電気情報科の新設に伴い、昭和二十年四月に設立された電気科（前電気通信科）、平成元年四月に設立された情報技術科が募集停止され、令和五年三月をもって最後の卒業生を送り出すはこびとなりました。電気科・情報技術科の卒業生には、会工生としての誇りをもって充実した新生活を送ることを祈願しております。電気情報科の生徒には、これまでの電気科・情報技術科の学び、歴史を継承しながらも、これからの時代をリードする人材となれるよう、我々教職員一同も気持ちを新たに教鞭に立つ所存です。

関係学科である電気科3年生、電気情報科1・2年生は、勉強に資格取得、部活動、生徒会行事に熱心に取り組んでおります。関係職員と活動実績は次のとおりです。

【電気情報科職員】 ★は今年度着任 Eは主に電気科、Iは主に情報技術科

E 志田博隆（主任）／I 遠藤悠（副主任）／I 真田郁夫／E 海和寛
／E 永倉良正（電気科3年担任）／I 菊池研吾（電気情報科2年担任）／E 斎藤啓（電気情報科1年担任）／★E I 池上邦彦／E 中丸淳／I 池田政人／E I 境拓哉

【電気科進路状況】 ※十二月末現在

就職内定者 二十八名（県内企業 十三名、県外企業 十五名）／

公務員 三名／四年制大学 二名／専門学校 二名／未定 一名

今年度も県内外より多くの求人をいただき、生徒の希望進路へ結びつけることができました。八十九%が就職を希望し、大半の生徒が電力需給に係る職種を選択しております。特に電気科の学びを活かしたいという思いが強く、電力関連会社はもとより、地元電気工業への就職も例年を上回る成果でした。

【主な資格取得状況】

○第二種電気工事士（上期試験のみ）

合格者 二十九名（一年生 二十九名）

○第一種電気工事士（電気科三年生／電気情報科一・二年生希望者）

合格者 十三名（三年生 一名／二年生 十二名／一年生 一名）

○2級電気工事施工管理技士補（電気科三年生／電気情報科二年生希望者）

合格者 二十七名（二年生 十九名／三年生 八名）

○ジュニアマイスター顕彰（電気科三年生／電気情報科一・二年生対象者）

特別表彰 一名／ゴールド 十九名／シルバー 十名／ブロンズ三名

今年度は、多くの資格で多数の合格者を輩出し、ジュニアマイスター顕彰の表彰者が近年最多の見通しです。放課後の課外授業はもちろんのこと、自宅での弛まぬ努力の成果だと思えます。今後、第三種電気主任技術者試験へ挑戦する意欲溢れる生徒もおり、地域、生徒のニーズに応えられるよう今後も継続的な指導を重ねていく所存です。

【修養会および科行事】

一学期 三年日産自動車いわき工場見学／電気情報科ライントレー
ス大会／会津若松市スマートシティ推進室講演／一年全会

津電気工事協同組合青年部技術指導

二学期

一年東北電力(株)施設見学会／二年全会津電気工事協同組合青年部学生交流セミナー／T I S (株)講演／C C C M K ホールディングス(株)講演／二年東京電力パワーグリッド(株)教育プログラム／一年日産自動車見学／アクセンチュア(株)講演／一～三年ロボット関連施設見学／一年F R E A 見学／課題研究発表会

三学期

二年福島医療福祉機器産業協議会出前授業

末筆になりますが、電友会の皆様のご多幸を祈念するとともに、今後とも本校電気情報科への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



企業の担当者(右)から医療関連の技術の説明を受ける生徒

医療分野のものづくり紹介

会津工高 県内企業が出前講座
県医療福祉機器産業協議会は22日、会津若松市の会津工高で医療関連産業の出前講座を開いた。
県内で活躍するものづくり企業の魅力を、次代を担う高校生らに伝えようと初めて開催した。同校電気情報科の2年生約40人が参加した。

白河市の朝日フラバ、会津若松市のサンブライト、浪江町の富士コンピュータ、福島市の福島熔材工業所がそれぞれ、医療福祉分野における自社の取り組みを紹介した。体験会では生徒が点滴や手術のシミュレーターの操作や、産業用ドローンの動きを確認した。

令和5年(2023年) 2月24日 福島民報掲載

「二年間を振り返って」

電気科三年 佐藤 広生

私たちが会工電気科に入学して早やくも三年が経とうとしています。長いようでみじかかった三年間を振り返って思うことや感じたことをこの機会に振り返ってみたいと思います。

私たちは、期待と希望に胸膨らませて会工電気科に入学しましたが、入学間もなく新型コロナウイルス感染症拡大のため、一ヶ月間の休校になってしまつて、日に日に不安がつのつていました。

しかし、学校が再開されると、一見怖そうな会工のとても優しい先輩の皆さん、そして担任の先生をはじめ先生方のおかげで不安は解消されて、すぐに学校生活に慣れることができました。

例年、一年生の一学期に受験する国家資格である第二種電気工事士は、上期試験が中止になってしまったので、半年遅れで取得に向けて勉強がスタートしました。とても大変でしたが、多くのクラスメイトが合格することができました。

放課後遅くまで熱心にご指導いただきました担任の先生をはじめ電気科の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

二年生になり、後輩となる新一年生が入学して、学業と部活動により一層力が入るようになりました。

コロナ感染症は落ち着きを見せはじめ、3年に一度の会工祭が開催され、団結力を発揮してクラス企画賞を受賞しました。また、修学旅行に行くことができ、クラスメイトと絆を深め、楽しくとても充実した時間を過ごすことができました。

三年生では、最高学年として、クラスメイト皆で互いに励まし合い努力し合つて、それぞれの進路を実現することができました。

スポーツ大会では、これまでは最下位争いしていたのが、クラスメイトの団結力がより一層強くなったおかげで、優勝した種目もありました。また、最後の校内漢字テストでは一位になることができました。

三年間を改めて振り返ってみると、クラスメイト皆が一致団結できるクラスだったと思います。ここまで成長させてくれた会工電気科に感謝します。

3年 福島ロボットテストフィールド見学



「学科紹介」

電気情報科二年 武藤 圭祐(若松一中卒)

電気情報科は令和3年度に開設された新しい学科で、私たち電気情報科2学年は1期生です。電気情報科は、これまでの電気科と情報技術科のいいとこどりのような学科で、電気・電子の基本や電気機器などを学ぶ分野、コンピュータの基礎知識やプログラミング技術などを学ぶ分野について学んでいます。さらに、電気分野と情報分野の両方の国家資格を取得することができる魅力的な学科です。

1年次は、入学してすぐに第二種電気工事士の資格勉強が始まりました。5月に上期筆記試験、7月に上期技能試験があります。勉強できる期間が短く、不安を感じたり、放課後に勉強したりするなど、つらいと感じることもありました。しかし、第二種電気工事士という資格は、将来の仕事に直接役立てることができ、就職を考えている人にとっては大きな武器になるため、資格勉強の指導をして下さる先生方はプロフェッショナルな方ばかりで教え方も上手で安心して勉強を進めることができました。

2年次からは、電気エネルギーコースと情報テクノロジーコースに分かれます。1年次に2つの専門分野を学びながらコースを選択できるところが他の学科にはない魅力だと思います。電気エネルギーコースでは、電気を作る発電、電圧を変える変電、電気を届ける送配電の仕組みを重点的に学習します。実習では、発電機の実習やシーケンス制御実習、電気工事実習などを行っています。情報テクノロジーコースでは、コンピュータの動作原理などのハードウェアやC言語などのプログラミング言語について学習します。実習では、プログラミングはもちろん、マイコン制御や3DCAD、電子回路設計、はんだごてを使用した基板の組み立てなどを行っています。

今年度は、電気エネルギーコースでは、第一種電気工事士、情報テクノロジーコースでは、基本情報技術者試験の午前免除認定試験にそれぞれ難関といわれる国家資格に臨んでいます。多くの人がこれらの資格に合格できることができ、ジュニアマイスター取得者も増えてきました。学校行事では、体育祭や修学旅行が印象強く残っています。クラスメイトの新たな一面も見れたりして、クラス全体の中が深まっ

てきたように思います。

また、今年度は会津電気工事協同組合様のご協力で3日間のインターシップや内線工事体験や高所作業車への搭乗体験など学校の実習では学ぶことができないことを経験させて頂きました。私は、指導してくださった方の多くが本校電気科や情報技術科の卒業生であることにとても驚きました。先輩方が地域産業を支えていることを実感するとともに、私も先輩方のような地域を支えるエンジニアになりたいと強く感じました。

来年度の抱負としては、クラス全員が希望の就職・進学に内定・合格をすることです。他には、退学者をクラスから一人も出さずに担任の菊池先生を含めて胸を張って卒業したいと思っています。

最後になりましたが、私たち電気情報科1期生として、これまでの電気科と情報技術科が築いた輝かしい歴史を引き継ぎながら、新たな歴史をつくれるよう努力して参ります。



一年 東北電力
施設見学会



2年 東京電力パワーグリッド出前授業



2年 全会津電気工事協同組合学生交流セミナー

『頑張れ応援歌』

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子

栄ある健児よ はえ 理想の盾をば振りかざし

破邪の剣とりて起て た 打てやこらせや

我等が敵を

勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ

奮るえや 会工の健男児

フレー フレー フレー

《会員からの寄稿》

卒業生に贈る (昭和二十六年卒・仙台市在住) 森山 敏

もう直ぐ三月、三年生諸君は校舎を後にする。皆が夫々の道に進んで行く躍動の時、自信と少々不安を抱え、否応なく前に進まなければならぬ。

自分も新しい職場で、既にライセンスを取得して来た友人がいた。それが刺激となつてか、挑戦し取得出来たことを思い出す。

当校諸君も在学中に取得した者、今進行中で、就職決つた者もいよう。くじけず負けず頑張つて欲しい。

理工系の職場なら、ライセンス取得を求められるところも多い。それが大きな自信となり、不安も消え失せる事でしょう。

恩師 保志和吉先生の百歳を祝う

(昭和二十八年卒・会津若松市在住) 冠木 忠之

恩師 保志和吉先生の百歳を祝う「百寿祝賀会」が昨年、5月に開催されました。地元の文化人で武道家でもある、名士の先生の祝い事は、新型コロナウイルス禍で、制約がある中、3会場に分かれて行われました。先生はご挨拶の中で、「人生100年の時代、私の後に、続いて下さい・・・」と全く歳を感じさせない、若々しい言葉、姿容に、克つてない感動を感ずられました。

此の上無い慶事を、会工電友会会員の皆様にお伝え仕度、更には沿革に残る事を願い、併せて、憚り乍ら、拙宅ですが、当日、申し上げます。祝辞を寄稿致します。

「祝辞」

和吉会の皆様を代表して、お祝いと、感謝の辞を申し上げます。

先生、人生100年時代にゴールイン、お目出度ございます。

本日、参列が叶わなかった、和吉会の皆様からも、この上ない祝意と感謝の意、祝儀を、お預かり致しました。併せてお伝え致します・・・

さて、先生との出会いは、72年前、戦後間もない昭和25年、私は15歳の春、新制会津工業高校電気科第1回入学生として、会津工業高校電気科に入学、毬栗頭で、下駄履きで、制服も満足にない時代でした。教壇に立つ先生も奉職1年生、緊張したお姿が、印象に残りました。皆、先生を「わきつさ」と呼び、敬い、慕い、信頼し・・・いつの間にか和吉会が醸し出されました・・・

わずか3年間の高校生活で、武道家でもある先生から「針に通された糸のように」、「導かれて、学業はもとより、「質実剛健の気風と気合い」の教えを学びました・・・

それぞれは、将来を担う栄えある会工健男児に育てられ、産業人、企業戦士として、学び舎をあとに、それぞれの道に進みました・・・

それから20年余りの時が過ぎ、和吉会も回を重ねていきました。私どもの男42歳の大厄には、塩原温泉のホテルで厄払いをした時の事・・・先生も我々も成年生まれなので、私が代表し地元の八幡神社

でお祓いを受け、拝受したお札を、先生に伝授してくださいました。当時、人生80年の時代、先生は「君たちは人生の折り返し、後の半分は、嬉しい事も、悲しい事も多々ある、中堅社会人の試練に耐え、悔いのない人生を・・・」と優しく諭された事が心に残りました・・・

それから更に50年が過ぎて、・・・2年前、先生の百歳を祝いで、和吉会を閉めようと、大川原君の提案で進め、6名の参加で日取りも決まりましたが、図らずもコロナ禍、国の緊急事態宣言発令で、幻

に・・・その時、先生から、「中止は残念だが仕方ない・・・長い間和吉会の継続に感謝する。伊豆長岡温泉、戸田峠の富士山・・・」など

など沢山の一生の思い出を作ることが出来、感謝と喜びでいっぱいだった。この度で最後の和吉会と言うことなので、記念に、拙筆の絵手紙を参加者予定者に贈りたい・・・「同級生は心が一つ。お互いの友情を益々

深め、元気で爽やかな日々を送るよう願ってお礼とします。」そして「愈々百歳時代の当来、時々皆さんの顔を思いだしながら、元気で余生を送りたいと思います・・・と、幻になった、最後の和吉会に、

暖かな、深い思いを寄せられました・・・

人生100年時代をスタートした、先生、決して無理をなさらず、長寿を楽しみながら、記録を伸ばされる様、一層の御健勝を御祈り致します・・・私共も、来年は、卒寿、90歳になります・・・この

後も、世紀を越えられた、先生の記録を目標に後を追いかけます。・・・私事です、先生の叙勲、米寿の祝賀会の席にも招待を頂き、参列出来た事は、幸運と名譽と心得ており、お礼を申し上げます。

また、お忙しい中、百寿祝賀会を企画、実行をして頂いた、日新コミセン会長、石田昇さま、幻の和吉会を、現実に戻して頂き、感動で一杯です。有り難うございました。・・・最後に、図らずも先を急いだ友のご冥福を祈り祝辞と致します。

令和4年5月29日

和吉会代表 冠木 忠之

健康維持に努める

(昭和三十一年卒・岡山県倉敷市在住) 渡部 藤雄
明けましておめでとうございます。今年も元気に新年を迎えることが出来ましたが、だんだん体の調子を気にするような歳になりました。

健康維持が大事です。これには体力と知力の双方が健全でなければなりません。私の体力維持の方策は、毎朝1万5千歩のウォーキングと山登りです。山登りは最近遠出を止めて県内の1300mクラスの山や、近くの300mクラスの低山で楽しむようになりました。知力の維持ではボケ防止として、ナンプレ遊びや、写真、俳句、川柳などを新聞テレビに投稿して、時々入選新聞への掲載や、テレビで放映されることを楽しみにしています。

今年1月10日NHK広島から放送された写真を添付します。体力知力の維持方策を書きましたが、これには規則正しい生活と継続が肝要です。私は間もなく20年近くの継続になります。これからも周りの人々に迷惑を掛けない様に、続けてゆきたいと思っております。皆さんの健康寿命の長寿をお祈りいたします。



令和5年の初日



瀬戸大橋

クラス会を毎年開催

(昭和三十六年卒・会津美里町在住) 根本(栗城) 一雄

約二十年前まではクラス会を二年に一度行いました。約十年前よりクラス会を毎年行うようになりました。常任幹事の広川昌二君は日立製作所に何と74歳まで働きました。パソコンやカメラが得意で、欠席者にも送ります。クラス会は三人集まれば実施したいと言っています。会津工業高等学校電気科の三年間の思い出は私達参加者の宝です。

同窓会本部役員に就いている電気科同窓生の紹介

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	藤田 晴史	S40	本部選出
会長	浅田 誠	S43	本部選出
副会長	田中 健一	S42	東京会工委会長・参与
副幹事長	白井 達夫	S43	本部選出・会工電友会事務局長
幹事	近藤 信行	S40	本部選出
〃	村澤 智	S62	本部選出
〃	本名 雄一	H13	近畿会工委会務局長
〃	星 秀明	S40	福島会工委会幹事長
〃	長谷川与一	S40	猪苗代会工委会副会長
〃	佐野 常雄	S31	湯川会工委会幹事長
〃	高橋 誠	S60	三菱マテリア若松製作所職友会会長
監事	鹿目 忠明	S40	会工電友会会長・参与
参与	石川 善一	S39	近畿会工委会長
〃	二瓶 嘉人	S39	福島会工委会長
〃	野中 寿勝	S50	会津美里会工委会長
事務局	真田 郁夫	S57	会津工業高校教職員

(同窓会報2022参照)

会工電友会 役員紹介

(任期 2021年10月～2023年9月)

役職名	氏名	卒年
会長	鹿目 忠明	S40
副会長	成田 良	S35
監事	栗城 隆彦	S36
〃	長谷川与一	S40
会計	近藤 信行	S40
事務局長	白井 達夫	S43
庶務	菊地 進	S47
理事	大越 一郎	S35
〃	中丸 茂由	S37
〃	藤田 晴史	S40
〃	渡部 幸雄	S43
顧問	山口 健	S29
(就任順)	荒明 正義	S30
〃	根本 一雄	S36
〃	菊地 良三	S37
〃	佐野 常雄	S31

副会長 渡部昭寿様のご冥福をお祈り
申し上げます(2022/8 逝去)

会員の増加を図りましょう！
電気科・電子科卒の知人・友人を
お誘いください。

一報をお待ちしております。

◎事務局：43E 白井達夫
t-shirai@agate.plala.or.jp
090-3753-5718

※「会工電友会」

年会費納入のお願い

会工電友会の継続と発展のために、
皆様方のご協力をお願いします。

年会費振込用紙が同封されている
会員の方は、ご協力を宜しくお願
いいたします。



◎「同窓会」総会

令和5年10月21日(土)開催

◎「電友会」総会について

今秋の開催に向け、新型コロナウイルスの収束状況を勘案し検討します。

「電友会」および「同窓会」総会のお知らせ

(注) 会工同窓会報2022最終ページ記載の10月14日は誤りです。同窓会本部から訂正の連絡がありました。